

② 八ヶ岳府中山荘

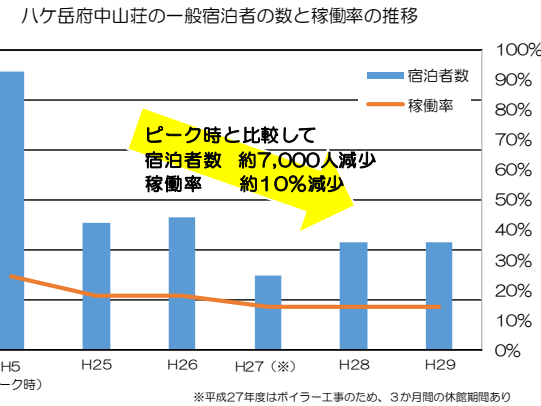
府中市立八ヶ岳府中山荘			
所在地	山梨県北杜市高根町大字清里字念場原3, 545番地1		
延床面積	4,501㎡	敷地面積	17,107㎡
階数	地上3階、地下1階	主な構造	鉄筋コンクリート造
建築年度	昭和46年度(集会室) 昭和53年度(学習館) 昭和59年度(現施設の大部分)	築年数	48年 41年 35年
目的	市立学校の教育活動、市民の保健体育その他教育の振興を図るための施設		
機能	客室(和室39室・洋室1室)、浴場、食堂、自炊用厨房及び会議室		



区分		宿泊料(1人1泊、食事料金を除く。)		休憩料(1人1回)
市民、姉妹都市又は友好都市の住民	大人(中学生以上)	1室を2人以上で使用する場合	800円	100円
	子ども(3歳以上小学生以下)	1室を1人で使用する場合	1,200円	
市内在勤者及びその家族	大人(中学生以上)	1室を2人以上で使用する場合	1,200円	200円
	子ども(3歳以上小学生以下)	1室を1人で使用する場合	1,800円	
その他上記以外の方	大人(中学生以上)	1室を2人以上で使用する場合	3,000円	400円
	子ども(3歳以上小学生以下)	1室を1人で使用する場合	4,500円	
			1,500円	200円

H28 収支状況

支出			収入	市負担額(支出-収入)	宿泊者1人当たり市負担額(※)
減価償却費	運営事業費	合計			
約2,000万円	約5,200万円	約7,200万円	約400万円	約6,800万円	約5,000円



③ 生涯学習センター

府中市生涯学習センター(施設全体)			
所在地	府中市浅間町1丁目7番地		
延床面積	20,383㎡	敷地面積	10,124㎡
階数	地上4階、地下1階	主な構造	鉄筋コンクリート造
建築年度	平成4年度	築年数	27年
目的	市民の生涯学習の振興を図り、市民生活の充実に寄与するための施設		
機能	学習施設: 講堂、研修室(6室)、語学室、工房(2室)、美術室、和室(2室)、音楽室(3室)、スタジオ、小ホール、その他諸室 体育施設: 体育室、温水プール及びトレーニング室 その他: 図書館、宿泊施設及びレストラン		



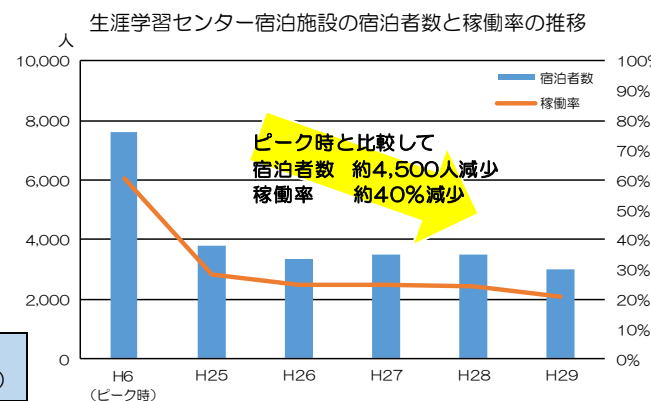
区分	市内居住・在勤・在学者の方または姉妹都市・友好都市の方		市外の方	
	大人	子ども(中学生以下)	大人	子ども(中学生以下)
洋室	1,600円	800円	2,400円	1,200円
和室	1,500円	700円	2,200円	1,100円

※3歳未満は無料

H28 収支状況 (機能の一部である宿泊施設だけの収支は算出できないため、生涯学習センター全体の収支をお示ししています。)

支出			収入(※)	市負担額(支出-収入)
減価償却費	運営事業費	合計		
約1億5,000万円	約3億1,000万円	約4億6,000万円	0	約4億6,000万円

※施設を運営する指定管理者に収入が入る仕組みのため、府中市への収入は0円となります。



アンケートにご協力をお願いいたします。

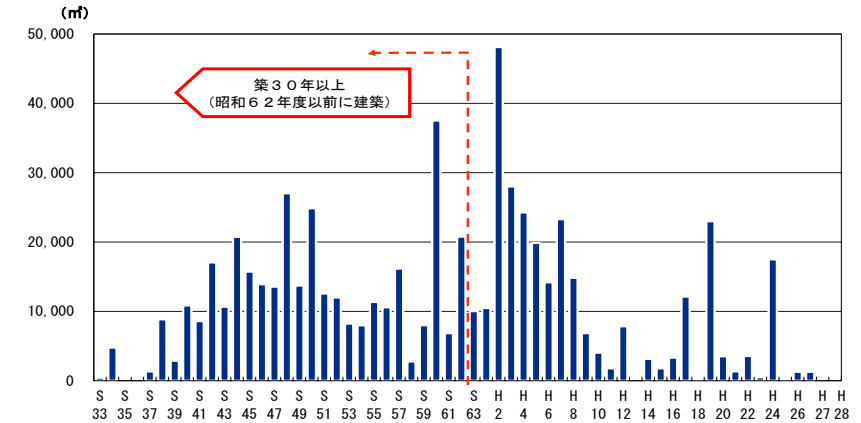
アンケート参考資料【概要】

1 本市の公共施設を取り巻く状況について

① 公共施設の状況

人口増加が急激に進んだことにより、昭和40~50年代に多くの公共施設が整備されましたが、それら施設の老朽化が進んでいます。今後施設の改修や建替えといった「施設の更新」が必要となる時期が一齐に訪れますが、膨大な費用が必要となることから、早急な対応が必要な状況です。

図 公共施設の築年度別整備状況

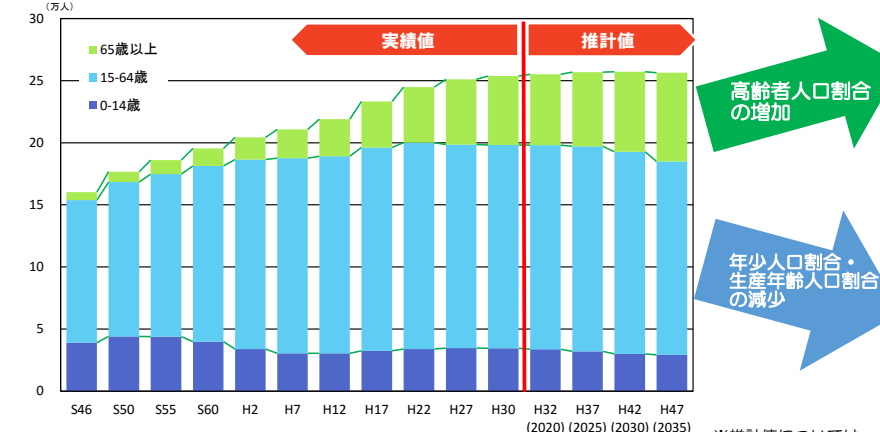


② 人口の状況

推計では、高齢者人口(65歳以上の人口)が増加する一方で、年少人口(0~14歳の人口)と生産年齢人口(15~64歳の人口)の割合の減少が見込まれています。

このことは、財政面に影響を与えるだけでなく、公共施設に対する市民ニーズにも変化が生じることから、長期的な視点に立った検討が必要となります。

図 年齢階層別人口割合の推移



高齢者人口割合の増加

年少人口割合・生産年齢人口割合の減少

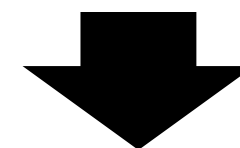
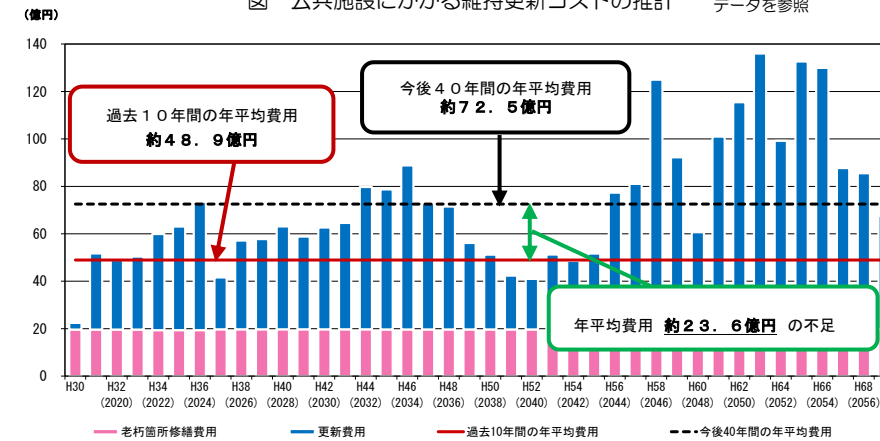
※推計値については、第6次府中市総合計画中期基本計画の策定の際に作成した人口推計データを参照

③ 財政の状況

少子高齢化の進展などによる市税収入の減少や、福祉にかかる費用の増加など、今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれます。

そのような中、今後40年間で公共施設の維持更新にかかる費用は、年平均72.5億円と見込まれます。近年の年平均は、48.9億円なので、その差額である23.6億円が不足することになります。

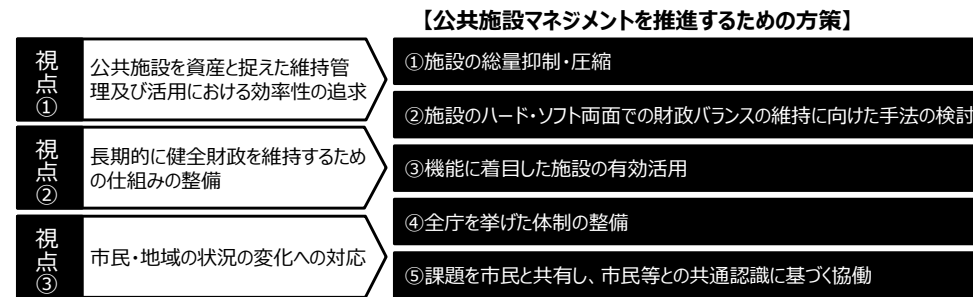
図 公共施設にかかる維持更新コストの推計



次世代に過度な負担を残すことなく、これまで整備してきた良好な財産を引き継いでいくためには、施設の適切な維持管理と有効活用に取り組む必要があります。

2 公共施設を取り巻く課題の解決に向けた方針：府中市公共施設マネジメント基本方針

本市では公共施設（建築物）を自治体経営の視点から総合的に企画、管理及び有効活用していくため、平成 24 年 5 月に「府中市公共施設マネジメント基本方針」を策定し、施設の量と質の両面で見直しを進めています。



3 公共施設マネジメントの具体的な取組：第 2 次府中市公共施設マネジメント推進プランとモデル事業

府中市公共施設マネジメント基本方針に基づき、取組を着実に推進していくために、平成 30 年度から平成 33 年度までの 4 年間を計画期間とする第 2 次府中市公共施設マネジメント推進プランを今年 1 月に策定しました。その中で、検討内容に関連性があり、ともに検討を行うことによる相乗効果が期待できる施設については、モデル事業として、一体的に検討を進めます。今年度は、モデル事業 3 として「宿泊機能・サービスの今後の在り方」の検討を行っています。

モデル事業 3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」対象施設

※ 年間の部屋の稼働率
= 利用された部屋の合計数 / 利用することが可能だった部屋の合計数

① 市民保養所「やちほ」



市民の保養のため、また、都市交流の拠点として、府中市の姉妹都市である長野県佐久穂町に設置

H29 宿泊者数…5,829 人

H29 稼働率 …43.57% (※)

建築後 34 年が経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。

② 八ヶ岳府中山荘



市民も利用可能な林間学校施設として、山梨県の清里に設置

H29 宿泊者数… 4,265 人 (市民利用)
…10,235 人 (セカンドスクール)

H29 稼働率 … 30.08% (※)

建築後 35 年が経過し、大規模改修が必要な時期を迎えている。

③ 生涯学習センターの宿泊施設



市民の生涯学習の振興を図るための府中市内の施設
学習施設や体育施設のほか、4 階が宿泊施設となっている。

H29 宿泊者数…2,996 人

H29 稼働率 …20.95% (※)

建築後 27 年が経過し、大規模改修が必要な時期が近づいている。

4 今後に向けた取組

モデル事業は、公共施設マネジメントの取組を推進していく上で大変重要なステップであることから、市民の皆様のお考えを伺うことを目的として、本アンケートを実施します。アンケートでいただいたご意見は、今後の公共施設マネジメントの推進に当たり、参考とさせていただきます。

5 対象施設の詳細

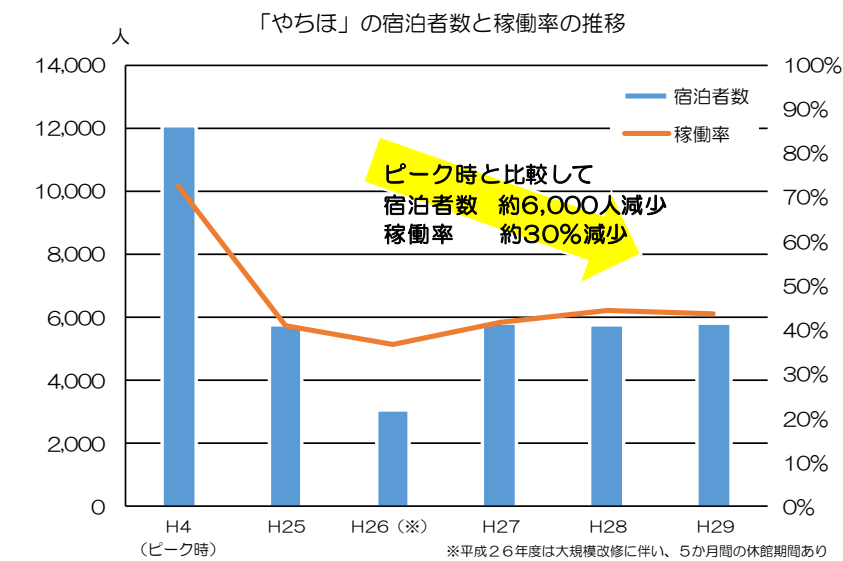
① 市民保養所「やちほ」

府中市民保養所「やちほ」			
所在地	長野県南佐久郡佐久穂町大字八郡 2,049 番地 150		
延床面積	3,077㎡	敷地面積	40,081㎡
階数	地上 2 階、地下 1 階	主な構造	鉄筋コンクリート造
建築年度	昭和 60 年度	築年数	34 年
目的	市民に休養の場を提供し、健康の増進を図るための施設 姉妹都市である佐久穂町との交流を促進し、相互理解を深めるための施設		
機能	客室（和室 12 室・洋室 1 室）、浴室（展望風呂・貸切風呂）、食堂及び交流広場		

利用料金 ※税込み、食事代を除く。

区分		市内居住・在勤・在学者の方 または姉妹都市・友好都市の方		市外の方	
		大人	子ども (小学生以下)	大人	子ども (小学生以下)
宿泊	1 人	5,500 円	1,500 円	7,500 円	2,500 円
	2 人以上	3,000 円	1,500 円	5,000 円	2,500 円
休憩	1 人	200 円	100 円	600 円	300 円

※休憩は、客室・浴室・大広間を利用することはできません。



H28 収支状況

支出			収入 (※)	市負担額 (支出-収入)	宿泊者 1 人当たり市負担額
減価償却費	運営事業費	合計			
約 2,300 万円	約 5,900 万円	約 8,200 万円	0	約 8,200 万円	約 14,000 円

※施設を運営する指定管理者に収入が入る仕組みのため、府中市の収入は 0 円となります。